

市自連ニュース

平成30年10月22日(第18号)

発行：座間市自治会総連合会
発行責任者：菊地 孝
〒252-0021

座間市緑ヶ丘1-1-1

電話/FAX：046-252-8751

URL <http://shijiren-zama.com/>

Eメール shijiren-zama@nifty.com

回
覧



第35回 自治会役員研修大会 ～平成30年9月9日(日)～

大会スローガン「安全・安心の街づくり」

第1部：「自治会功労者表彰式」

《平成30年度 自治会功労者》

加藤修治氏	皆原東自治会	自治会長	5年
後藤明正氏	立野台地区自連	市自連理事	4年
清原良昭氏	相武台地区自連	市自連理事	4年

表彰式のあと、遠藤市長、京免市議会議員、金子教育長からそれぞれご挨拶をいただきました。

第2部：テーマ 「自治会の見守り活動」

1) 講演：「高齢者を地域で支える」

講師：鎌倉市七里ガ浜自治会 会長 小松春雄氏
副会長 太田治代氏

七里ガ浜自治会

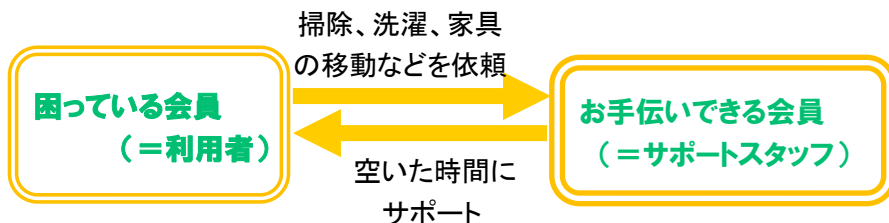
設立：昭和43年

加入世帯数：1650世帯（加入率93%） H30. 8. 1. 現在

七里ガ浜自治会では、高齢化等で「家事などで困りごとがある」という会員の声を元に、互助の仕組みを考え取り組んでいます。

取り組み その1：かもめサポート(少額の有償ボランティア)

時間を自由に使える自治会員が、利用者にサービスを提供する。



取り組み その2：かもめサロン(空家を活用した地域の憩いの場)

毎週水曜日、「コーヒー・紅茶と楽しいおしゃべり」の場を提供し、自治会の福祉部が相談にもなっています。

当日の出席者の感想をいくつかご紹介します。

- 充実した活動にはある程度の自治会の規模も必要だが、何より住民の多様性が必要だと感じた。
- 自治会としてできる事がまだまだあると分かった。



市自連会長の挨拶



清原、後藤、加藤の各氏



小松氏(左)と太田氏(右)



出席者からの質問

2) 発表「災害時避難行動要支援者登録名簿の更なる受領と活用を！」

防災部 土橋忠敬

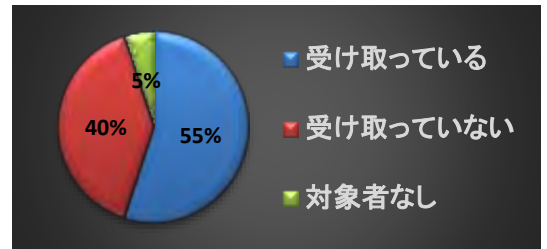
◆見守り活動としての「災害時避難行動要支援者支援制度の取り組み」と題して発表し、出席者にご意見を頂きました。(アンケート回収169枚中、名簿受領に関する回答108枚)

【要支援者名簿の受領と活用に関するアンケート結果】

集計担当：福祉部

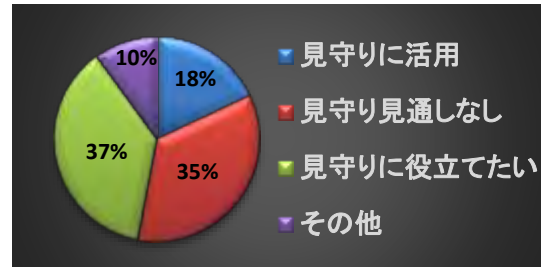
質問1：あなたの自治会では「名簿」を受領していますか？

- A：受け取っている
- B：受け取っていない
- C：自治会内に対象者がいない（登録名簿なし）



質問2：質問1 A「受け取っている」方の「登録名簿」活用方法

- A：要支援者の見守りに活用している
- B：自治会長が保管しているが見守りの見通しは立っていない
- C：これから要支援者の見守りに役立てたい
- D：その他



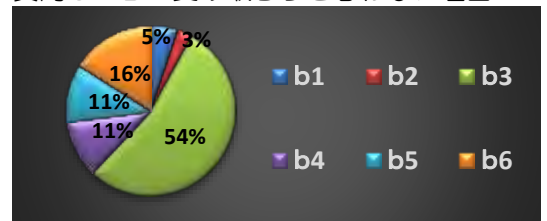
質問3：質問1 B「受け取っていない」方は、本日の発表を受けて「登録名簿」を受け取ろうと思いますか？

- A：受け取ろうと思う 18%
- B：受け取ろうと思わない 72%

質問3 B：受け取ろうと思わない理由

その理由：

- b1：自治会独自に名簿を持っている
- b2：要支援者を地域で把握できている
- b3：責任が持てない
- b4：制度の主旨に賛同できない
- b5：支援者同士の協力体制が作れない
- b6：その他



【アンケート結果について】

現在、「名簿受領」が進んでいない自治会では、受領に責任が持てない等のご意見が半数をしめています。市自連としては、以下の点をご確認頂き、「名簿受領」へのご理解をお願い致します。

- 1) 要支援者名簿は個人情報ですが、自治会内の支援者には複写が認められています。
- 2) 災害時は支援者自身と家族の安全が最優先です。その後、要支援の方々への安否確認や避難誘導を行います。これについての法的な責任や義務を負うものではありません。

※179ある単位自治会の名簿受領状況は次の通りです。

平成29年度

■要支援者登録自治会数と要支援者数

154自治会 ・ 934人

□名簿受領自治会数と要支援者数

63自治会 (40%) ・ 560人 (60%)

平成30年度 (8月末現在)

■要支援者登録自治会数と要支援者数

146自治会 ・ 893人

□名簿受領自治会数と要支援者数

88自治会 (60%) ・ 665人 (75%)

自治会加入促進活動 @杜協福祉まつり ～平成30年9月17日(月・祝)～

市自連ブースで自治会活動紹介のパネル展示をしました。また、災害発生時にお互いが協力する大切さを呼び掛けたリーフレットを作成し、来場者に配りました。



配布したリーフレット

平成 30 年度自治会夏行事 ~平成 30 年 7 月・8 月~



ひばりが丘合同夏祭り

~ひばりが丘地区 4つの自治会~



「広場のない小さな自治会でも夏祭り出来ないかな？」そんな私のつぶやきが活動の発端でした。

高齢化、自治会員の減少という状況の中、同じ思いを抱く自治会長が集まりました。そして、みんなでやれば怖くない。早いもので、今年で第6回の合同夏祭りを盛大に開催する事が出来ました。現在は、ひばりが丘地区に属するモラーダさがみ野、東原団地、エステ・スクエア南林間、第2自治会、4つの自治会で合同開催しています。地域の皆様にも認知され、今年は去年の3倍近い1万人近くの方々にご来場頂きました。

未来に何色のバトンを渡せるのか？ 実行委員に負担の少ない運営を行い、地域の皆様と話し合いながら、ひばりが丘の自治会の和を繋いでいきたいと思ひます。

ひばりが丘合同夏祭り実行委員長 伊藤 ささ美



バンド演奏を觀賞する夏祭り観衆



檣の上で踊る小中学生ダンスチーム



老いも若きもそうめん流しで暑氣払い

~緑ヶ丘地区 緑ヶ丘南自治会~



流れるそうめんやゼリーに大はしゃぎ



子供たちに交じって楽しむ大人たち

緑ヶ丘南自治会では、毎年恒例になってきている「そうめん流し」を7月21日に開催しました。

毎年、新たな竹を調達して加工を施し、そうめん流しの水路を作成します。当日は早朝からテントを張り、飲み物やスイカを冷やし、開始時間に合わせて大釜でそうめんを茹でて準備完了です。

開始から徐々に子供たちが増え、右利きの子供は水路の左側に、左利きの子供は水路の右側に並んで、最初は上手くつかめなかった子も徐々に慣れました。

そうめんのほか、ミニトマトやみかん、ゼリーなども流し、子供たちは箸でつかむことに大騒ぎでした。子供たちの絵日記もにぎやかになることでしょう。

そうめんを流したあとは冷えたスイカを頂きました。今年は暑い、暑い、本当に暑い夏休みの始まりとなりましたが、老いも若きも楽しく涼しい思い出となりました。

緑ヶ丘南自治会 副会長 湯浅 一弘

ラジオ体操で地域交流



～入谷第一地区

明王自治会～



今夏、「明王地区子ども会育成会」では、『夏のラジオ体操』を8月23日、24日に実施しました。保護者を含む約45名が元気よく参加しました。

明王自治会は、発足して45年の歴史があります。発足当時は若い世帯が多く、子ども会の会員も40名近くいて、たいへん賑やかにラジオ体操をしてきました。近年では、自治会員の減少と保護者の共働き増加等で子ども会の会員も少なくなって、日程も短くなりました。

現在は若い世代の自治会員が増えたことで子どもも増え、子ども会の会員も25名になりました。更に、最近は星の谷第一自治会の子ども会と合同で実施しており、今後もラジオ体操を継続していきたいと話しています。

明王地区子ども会育成会 会長 小野 麻衣子



空に向かって胸を大きく開いて



最後の深呼吸

みんなで踊ろう盆踊り



～栗原地区

上栗原自治会～



～小松原地区～



今年もお盆祭りの季節が到来しました。広場の中央に櫓を立て、開催に向けて、自治会員みんなで模擬店等準備を進めてきました。大会当日には、抽選会の景品として米5kgやビール券などを用意し、多くの方々に楽しんで頂きました。

自治会員の足腰の悪い方々を車いすでお迎えに行き、参加して頂きました。

栗原地区代表理事 曾根 市郎



景品を沢山揃えました

今年、新しく開園したこまつばら公園にて、第46回盆踊り大会を開催しました。大会1週間前の設営から大会2日間を含め、最後の撤収まで全て晴天に恵まれました。役員スタッフに加え、地元の各団体や地元の皆様に応援して頂き、滞りなく祭りが進行しました。もう来年の盆踊り大会が待ち遠しいです。

小松原地区代表理事 高橋 豊



ざまりんの来場に子どもたちも大喜び